

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	あらき かつひこ	
氏名	荒木 克彦	
所属・役職	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 / 卓越大学院プログラム TMI 客員教授 ブルーインフラストラクチャー合同会社 顧問	
活動拠点	主に、愛知県・岐阜県・三重県 (オンラインであれば全国対応可能です)	
略歴	長年にわたり、インターネット・無線通信・IoT・クラウド・AI などの先端技術を、企業・団体、防災、交通、公共事業分野において実用化するとともに、産学官連携のもと、国内におけるインターネットの普及と関連サービスの実装支援に従事してきました。 1982 年 高校時代、モトローラ系 CPU でプログラムを作成し雑誌などに投稿 1983 年 家族介護、就農（稲作） 1993 年 東京理科大学理工学部 物理学科卒業 1993 年 建築構造設計事務所にて、構造設計、CAD 操作、プログラム開発を担当 1994 年 インターネットで検索サイト、バナー広告交換 Web サービスを開発・公開 1995 年 荏原製作所にて風水カプラントプロジェクト担当（農業用水・防災関連） 2000 年 インターネットイニシアティブ（IIJ）にて、公共分野を担当 中央官公庁が牽引する e-Japan 施策を担当 (総務省 IPv6 移行推進、経済産業省 RFID 実証、国土交通省の防災業務等) 2003 年 安心・安全インターネット推進協議会委員 2005 年 同社名古屋支社にて、ブロードバンド、モバイル通信、セキュリティ対策等普及 東海情報通信懇談会地域情報化部会委員 2011 年 名古屋大学、総務省東海総合通信局と東海ラジカルネットワークを立ち上げ (ワークショップ、ハッカソン等を主催) 2015 年 道路交通情報通信センターに出向、ITS 高度化に資する調査研究、 ITS 世界会議で VICS 紹介、産学官勉強会を主催（防災情報提供、高齢社会対応） 2016 年 IIJ に帰任し自治体のセキュリティクラウド普及を担当 2017 年 中部電力にて新規事業開発に従事、地域コミュニティビジネス、ICT 人材育成、 新会社立ち上げ、クラウドファンディング、IoT サービス等を担当 2024 年 中部電力を 60 歳で定年退職。その後、家業の農業で DX・GX を実践しつつ、 IoT 分野の技術支援のためブルーインフラストラクチャー合同会社の顧問に就任	

地域情報化の 専門分野・技術		・ 地域情報化戦略／地域 ICT 利活用 ・ 公共分野における ICT 利活用実務 ・ 地域 DX 推進（農業・防災・交通）、及び GX 推進 ・ 官民連携による情報通信施策推進 ・ 地域に根ざしたデジタル技術の実装支援
専門分野		オープンデータ AI 活用 生成 AI 活用 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DX に関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体セキュリティ 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム ネットワークインフラ（Wi-Fi / LPWA / 光ネットワーク） デジタルデバйд対策 5G 防災 教育情報化／情報教育 働き方 子育て テレワーク 農林水産業 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 個人情報保護 スマートシティ ICT 活用広報 プロジェクトマネジメント支援 その他
自治体向けメッセージ		情報通信技術（インターネット、クラウド、AI、IoT、無線通信など）、公共事業・交通・農業・防災分野における実務、新規事業開発や DX・GX の推進、そしてそれぞれの分野における持続可能な事業の構築・拡大に取り組んできた実績をもとに、地域課題の解決に向けたアイデアの創出と具体的な実践を支援いたします。
関連サイト		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	2011～2014 年 名古屋大学、総務省東海総合通信局と東海ラジカルネットワークを立ち上げ、世話人として地域情報化に資するワークショップ、ハッカソン等を主催
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	2020 年～ 三重県木曽岬町 IoT 推進ラボ（きそラボ）会員